



第4章 計画の基本的な考え方



1 目指す姿

1.1 スポーツの定義

従前計画は、スポーツを競技スポーツだけでなく、「目的を持った身体活動のすべて」、と定義し、「する」だけでなく「みる」、「ささえる」スポーツ活動も含めて計画対象としている。

市民のスポーツ活動やそのニーズが多様化し、スポーツに求められる社会的な役割も広がる中で、本計画には、幅広い視野でスポーツの可能性を捉え、本市におけるスポーツの将来的なビジョンを描くことが求められる。この点を踏まえ、本計画においても従前計画のスポーツの定義を踏襲する。

【本計画におけるスポーツ】

- 競技スポーツに限らず、ジョギング、ウォーキング・散歩、体操などの軽い運動やレクリエーションなど、目的を持った身体活動のすべてをスポーツとして捉える
- スポーツを「する」以外に、スポーツを「みる」、スポーツ活動を「ささえる」活動も、本計画の対象とする。

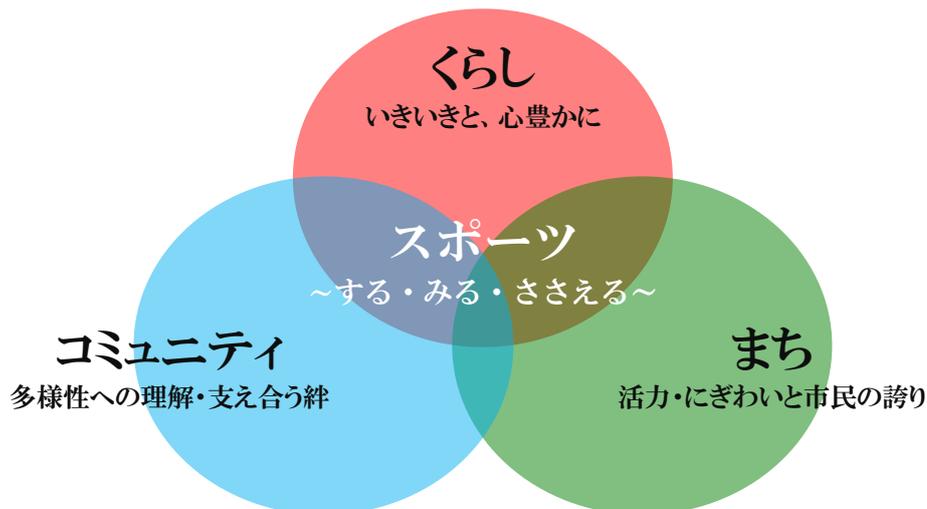
1.2 目指す都市像

スポーツは、「する」「みる」「ささえる」の自発的な活動を通じて、多くの人と「楽しさ」や「感動」を分かち合える本質的な価値を有している。また、スポーツ活動が活発化することで、心身の健康増進、人や地域とのつながりや交流の創出、多様性に対する理解の促進、地域への経済波及効果など、地域や社会の課題を解決し、新たな活力を生み出す社会的効果も期待できる。¹⁸

本計画の目指す姿は、この2つのスポーツの価値を最大限に享受し、まちづくりに活かしている、スポーツとともにある「人・まち・自然が調和し、躍動するまち」である。

（目指す都市像）

- すべての市民が日常的にスポーツを楽しみ、いきいきと、健康で心豊かに暮らしている
- スポーツを通じて、多様性に理解があり、互いに支え合うコミュニティが形成されている
- スポーツがまちの活力やにぎわいの源泉であり、市民の誇りとなっている



スポーツとともにある
「人・まち・自然が調和し、躍動するまち」

¹⁸ 参照：第3期スポーツ基本計画『スポーツ基本計画における「スポーツ」の捉え方』

2 計画の視点



目指す都市像の実現に向けて、先述の課題に対応した次の2つの視点から今後の10年間の視野に入れ、体系的、計画的にスポーツ施策を推進していく。

(1) 市民スポーツの推進

■これまで以上に、スポーツを市民生活に浸透させる

子どもや若年層のスポーツ離れ、働き盛り世代の健康管理、高齢者の健康寿命の延伸などが課題となる中で、今後、市民のスポーツ実施率向上のための効果的な施策がより一層重要になる。このため、市民一人ひとりが生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境の実現に向けスポーツ推進を図ってきた従前計画の取組を継承するとともに、さらにスポーツが市民生活に浸透し、多くの市民が心身ともに健康で、活動的な生活スタイルを身につけることのできる新たな施策の導入を図る。

(2) スポーツまちづくりの推進

■スポーツで地域の課題を解決する

移住・定住の促進や交流・関係人口拡大のためのまちの魅力づくり、地域の産業や中心市街地の活性化、SDGsへの貢献、多様性に配慮した共生社会の実現など、本市が抱える様々な社会や地域の課題に対して、スポーツが有する多様な社会的価値を活かしてその解決に取り組む「スポーツまちづくり」を推進していく。

■スポーツを通じたSDGsへの貢献

2015（平成27）年9月の国際連合サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ宣言」は、持続可能な地球環境や社会の実現に向けた国際的な共通目標であるSDGs¹⁹を発信したことで知られているが、その文書では、スポーツが社会の進歩に果たす役割の可能性について次のように述べており、スポーツが、本市が抱える多様な地域課題の解決にとって有効な手段となりうることを示唆している。

「スポーツもまた、持続可能な開発における重要な鍵となるものである。我々は、スポーツが寛容性と尊厳を促進することによる、開発および平和への寄与、また、健康、教育、社会包摂的目標への貢献と同様、女性や若者、個人やコミュニティの能力強化に寄与することを認識する。」²⁰

この認識を踏まえ、本計画において、スポーツを通じた地域課題の解決に取り組むことで、持続可能な社会の実現に向けてSDGsの目標達成に資することを目指す。



▲ SDGs で設定された 17 の目標

¹⁹ SDGs：「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称。2015（平成27）年9月の国連サミットで採択された、持続可能な地球環境や社会を実現するための2030（令和12）年まで達成すべき国際社会の共通目標。17の目標と169のターゲット（取り組み内容と達成指標）から構成されている。

²⁰ 出所：国際連合広報センターホームページ「スポーツと持続可能な開発（SDGs）」

3 基本理念



これまで述べた考え方を踏まえ、本計画の基本理念を以下のとおり設定する。

(基本理念)

With Sports City 沼津

～「スポーツとともにある暮らし」をもっと豊かに～

スポーツが、日々の暮らしとともにあるまち
そこでは、誰もが違いを認め合える
優しいコミュニティがスポーツで育まれ
スポーツでまちがにぎわい、市民の誇りとなっている

その将来像に向けて
市民、スポーツ関係者、行政、民間事業者が連携し
スポーツとともに歩いていく
「スポーツとともにある暮らし」をもっと豊かにするために

市民スポーツの推進

スポーツまちづくりの推進

With:「…と」、「…とともに」、「…と一体となって」、「…を使って」の意味



4 基本方針



計画の視点と基本理念を踏まえ、下記の基本方針に沿ってスポーツ施策を推進する。

基本方針

【1】

With Sports 暮らしの中にスポーツを



(対応課題)

- ・スポーツ実施率向上のための取組強化
- ・市民主体の継続的な活動の場の確保

(目指す姿)

すべての市民が日常的にスポーツを楽しみ、いきいきと、健康で心豊かに暮らしている

(方向性)

それぞれの体力や生活スタイル、スポーツに求める志向など市民一人ひとりの個性・ニーズに応じたスポーツの機会や活動の場が身近にあることで、充実した毎日を過ごせ、日々の暮らしが「スポーツとともにある」(With Sports)と実感できる環境や仕組みづくりを行っていく。

■ 関連する SDG s 目標

3 すべての人に
健康と福祉を



4 質の高い教育を
みんなに



【計画目標】

指標	現状	目標値 (2033 年度)
成人の週一回以上の スポーツ実施率	2022 (令和 4) 年度 : 52.2%	70.0%
世界大会・全国大会 出場者数	2022 (令和 4) 年度 : 40 件	50 件
社会体育施設 年間利用者数	2022 (令和 4) 年度 : 337,198 人	450,000 人



基本方針

【2】

With Sports

スポーツでつながるコミュニティ



(対応課題)

- ・スポーツによる地域課題の解決促進
- ・子どものスポーツ環境の再編・充実

(目指す姿)

スポーツを通じて、多様性に理解があり、互いに支え合う地域コミュニティが形成されている

(方向性)

子どもからお年寄りまで、また障がいの有無や様々な違いを互いに認め合い、ともに笑顔でスポーツを通じたコミュニティに参加することができ、その活動を通じて地域の絆がより強くなることを目指した取組を進め、様々な地域課題の解決につなげる。

■ 関連するSDGs目標



【計画目標】

指標	現状	目標値 (2033年度)
学校開放施設 年間利用者数	2022(令和4)年度: 289,578人	400,000人
各地域における スポーツ活動件数	2022(令和4)年度: 160件	220件
運動・スポーツが好きな 児童・生徒の割合	2022(令和4)年度: 86.4%	90.0%



基本方針

【3】

With Sports

スポーツでまちに活力を



(対応課題)

- ・スポーツを通じたまちの活力づくり
- ・豊かな自然・環境資源の有効活用

(目指す姿)

スポーツがまちの活力やにぎわいの源泉であり、市民の誇りとなっている

(方向性)

本市の特性である海・山・川の豊かな自然や市内に点在する各種スポーツ施設を、プロスポーツチームや民間事業者、各種団体と連携することでより有効に活用し、大会・合宿誘致などスポーツツーリズムの取組を強化する。スポーツをする人、みる人、ささえる人が立場の違いを超えてスポーツをきっかけに集まり、交流する、活気あるスポーツのまちの実現を目指す。

■ 関連する SDGs 目標



【計画目標】

指標	現状	目標値 (2033年度)
大会・合宿誘致 (開催) 件数	2022 (令和4) 年度 : 20 件	30 件
スポーツ交流人口 (大会・イベント参加者数等)	2022 (令和4) 年度 : 11,828 人	13,000 人
スポーツ交流人口 (プロスポーツ)	2022 (令和4) 年度 : 36,803 人	60,000 人



【基本理念】

With Sports City 沼津

～「スポーツとともにある暮らし」をもっと豊かに～

基本方針		施策の方向性		基本施策	
1	暮らしの中にスポーツを	(1)	生涯スポーツ活動の推進	①	スポーツ情報の発信
				②	スポーツ教室の開催
		③	多様なスポーツの楽しみ方の啓発・普及		
		(2)	競技スポーツ活動の推進	①	競技スポーツ活動の支援
②	競技スポーツ団体の支援と連携				
(3)	スポーツ活動を支える人材の育成	①	質の高いスポーツ指導環境の整備		
		②	スポーツボランティアの育成と活躍の場の創出		
(4)	スポーツを楽しむ場の充実	①	既存施設の適切な維持・運営管理		
		②	スポーツ施設以外の既存施設等の有効活用		
		③	施設の適正配置の検討		
2	スポーツでつながるコミュニティ	(1)	地域スポーツ活動の推進	①	身近なスポーツ環境の充実
				②	スポーツ推進委員の活動支援
				③	市民主体のスポーツ活動の支援
				④	パラスポーツの推進
		(2)	地域の課題解決につながるスポーツの推進	①	地域コミュニティ活動におけるスポーツ活用の促進
				②	スポーツを通じた子育て支援
③	スポーツを通じたSDGs 貢献の啓発				
(3)	学校運動部活動の地域移行の推進	①	新たな活動環境の構築		
		②	各種団体・総合型地域スポーツクラブとの連携		
3	スポーツでまちに活力を	(1)	スポーツ交流の推進	①	フェンシングのまち沼津の推進
				②	サイクルツーリズムの推進
				③	地域資源を活かしたスポーツ交流の促進
		(2)	プロ・トップスポーツとの連携	①	アスルクラロ沼津との連携
				②	様々な競技のチームとの連携